

Z世代の皆さんへ

～デジタル技術が創る「社会」・「世代」～

最近「Z世代」と称して10代20代の若者を呼んでいます。40年前の私の大学時代には「新人類」という名称で当時の私たちの世代が呼ばれていたことを思い出します。主に若者を対象にその時代の社会背景に沿って世代の名称が形成されているようです。「新人類」は1980年代(私の大学時代)に用いられたもので、1955年～1967年ごろに生まれた世代を指し、当時、従来とは異なった感性や価値観、行動規範を持っている者と言われていました。

今、よく耳にする「Z世代」ですが、「Z世代」は、1997年から2012年生まれの世代を指しています。「Z世代」の前の世代が「ミレニアム世代」と呼ばれ、1981年～1990年代なかばごろまでに生まれた世代を指し、テクノロジーやグローバル化などの変化を経験し、ソーシャルメディアやインターネットを活用することが一般的になった世代と言われています。「Z世代」の若者は、さらに、デジタルネイティブであり、スマートフォンやソーシャルメディアを日常的に使用し、また、多様性や社会的正義に関心を持ち、自己表現や自己実現を重視する傾向があるとされています。「Z世代」に属する読者の皆さん、正しく世代が説明されていると思われましたか？

「Z世代」は2012年生まれまでとされていますから、既に、次の世代が生まれていることとなります。その世代が「α世代」で、2010年代後半から2020年代前半に生まれた世代を指しています。この世代に属する者は「Z世代」同様にデジタルネイティブであり、スマートフォンやタブレットを生まれた時から身近に使い始めているため、テクノロジーに対する高い理解度と親近感を持っています。また、AIやVR、ARなどの技術にも親しんでおり、将来的にはこれらの技術をより身近に引き寄せるのでしょうか。

「ミレニアム世代」、「Z世代」そして、「α世代」の特徴を示すキーワードはインターネット、スマートフォン、AIなど電子情報通信技術、すなわち、デジタル技術が生み出している産物に他なりません。デジタル技術が時代を創り、そして、世代を創っているのです。そして、今後、デジタル技術は、人々が情報をやりとりする方法、ビジネスを行う方法、教育を受ける方法、医療を受ける方法、娯楽を楽しむ方法など、私たちの生活のほとんどを変革させていくでしょう。そこに次の新たな社会と世代が形成されることに

なるでしょう。しかしながら、私たちはデジタル技術が進歩することで、いくつかの課題や問題も生じる可能性があることを忘れてはいけません。プライバシーやセキュリティの問題がそれにあたります。常に技術は陽の部分のみではなく陰の部分を伴っています。

今後の社会・世代をデジタル技術が支配していくことは間違いないでしょう。このコラムの読者の多くの皆さんが時代や世代を築く当事者となり、社会に変革をもたらす者になるのかもしれない。技術を利便性のみを最優先させて進歩させること、技術を反社会的に利用することを避け、人間中心の考えを持って技術開発、利用を図ることが最も重要なことと思います。そして、皆さんには豊かなデジタル社会を創る人材になって欲しいと思っています。

(東京都市大学 田口 亮)

